

接客の気遣い、仕事の大変さ学ぶ

学外実習・インターンシップ **2面**

5大学連携 **ニイガタSKYスクール** **8面**

〈紅翔祭〉10/13(土)・14(日) **7面**

野口 健氏 文化講演会

PHOTO:「北方文化博物館で感じる秋」
情報システム学科 4年 穂苅 周平

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuis.ac.jp までお問い合わせください。

CONTENTS

3面

海外実習
キャリア育成合宿

企業見学セミナー

4・5面

教員海外研修便り
弥彦村小学生来学
プログラミング講座

平成31年度入学者選抜試験概要
教員の活動

6面

大型クルーズ船が新潟来港
通訳ボランティアで活躍

陸上競技部 全国大会
国際交流ファシリテーター活動

7面

紅翔祭
10/13・14案内特集

ゲストイベント 進学相談会

8面

北越高校と連携
「にいがたクエスト」
湧源



NUISホームページ
<https://www.nuis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



LINE@
[@nuis-line3111](https://line.me/tv/p/@nuis-line3111)
LINEの「友だち追加」から
「ID検索」で登録



Twitter
[@nuis_nabbit](https://twitter.com/nuis_nabbit)



YouTube
公式
チャンネル

学外実習

私は8月20日～8月31日までの10日間、博進堂の学外実習に参加しました。製作の仕事に興味があり、アルバム事業を主に行なっている博進堂に魅力を感じて今回の学外実習に参加しました。写真真右。

実習では、卒業アルバムを製作する過程の名前の打ち込み作業や、カレンダー作成のお手伝いもしました。名前の打ち込み作業とカレンダー作成は単純作業のようでしたが、一つの単純なミスでもお客様には大

博進堂



問題であることを痛感し、責任ある大切な仕事だと思えました。実際に作業

実際にアルバム製作

情報システム学科 3年 渡邊 伊吹

問題を大変な作業であることを実感しました。また、学外実習に参加した3人の10日間の記録を一つのアルバムに仕上げることもチャレンジしました。最初にテーマを決めて、それに沿う写真の選定や、レイアウトを3人で考えました。見てくれる人を想像して、意味が伝わるよう一貫性のあるアルバムにしなければならぬことを教わりました。写真を選ぶ際も、カッコいいとか雰囲気の良い写真ではなく、物語性やテーマに合った意味のある写真を選び、それが映えるレイアウトも考えました。アルバムも納期があることを意識しましたが、結局、作業は遅れて締め切り間際になり、自分たちの技量と相談して作ることが大切だと思いました。

学外実習では、最後まで仕上げる達成感だけではなく、仕事の大変さと難しさも学ぶことができ、この経験を就職活動にいかしたいと思っています。

接客の気遣い、仕事の大変さ学ぶ

インターンシップ

私は8月26日から8月30日までの5日間、新潟市中央区のホテルオークラ新潟でインターンシップに参加しました。ベルパーソンとしてフロントサービス課で3日間、バイキングレストランつばきで2日間の研修をさせていただきました。

私は接客のアルバイトとしており、ほかの業界の接客の技術を学びたいと思い、インターンシップに参加しました。写真真右。

ホテルオークラ新潟



一流のサービス研修

国際文化学科 3年 長谷川 円花

研修で感じたことは、常に気遣いが大切だということです。ホテルはチェックイン、チェックアウトをさ

送迎車のドアや自動ドアを押さえたり、駐車場や広い館内の各場所を案内したり、お客様の荷物を持つたり、とホテルの内外、どちらにも常に気を配ることが大切です。

「ロビーで最初に出迎える私たちの対応で、その後館内を利用されるお客様が気持ち良く居られるかが決まります」とベルパーソンの方がおっしゃっていたのがとても印象的でした。私たちの仕事だけではなく、他の部署のことも考えて動くのが一流のサービスを提供することなのだと思えました。

研修の間は本当に多くの体験をさせていただき、ホテル業界に興味を持つことができました。将来を考えるととても良い機会になりました。

- | | | | |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●(株)イタリア軒 ●(株)広報しえん ●(株)タカヨシ ●新潟国際情報大学 キャリア支援課 ●(株)ホテルオークラ新潟 ●(株)レオパレス21 ●新潟スバル自動車(株) | <ul style="list-style-type: none"> ●(株)エフエムラジオ新潟 ●(公財)長岡市スポーツ協会(長岡市市民体育館) ●新潟市役所 ●(株)ホテル清風苑 ●3社合同インターンシップ(藤田金屬(株)、セコム上信越(株)、セコム) ●長岡都市ホテル資産保有(株)(長岡グランドホテル) | <ul style="list-style-type: none"> ●柏崎市役所 ●(株)第一印刷所 ●(株)新潟グランドホテル ●(株)日産サティオ新潟西 ●POLA THE BEAUTY ●(株)ホテル新鳥メッセ(株) ●(株)ホテル新鳥 ●(株)シアンズ ●(株)長岡グランドホテル | <ul style="list-style-type: none"> ●(株)キュービット ●(株)たかだ ●(株)新潟放送 ●(株)BSNアイネット ●(株)北越銀行 |
|---|---|--|---|

海外実習 銘伝大学(台湾)で3週間

「アジアは英語が必須ツール」



台湾伝統のお面作りを楽しむ(右が高木瞳さん)

ました。また、2日に1回ある文化体験や文化見学では台湾の歴史と文化について学び、台湾の伝統のお面作りや、銘伝大学のスタッフの方の引率で、台湾北部の有名な観光地と景勝地である、九份や淡水などさまざまな場所を訪れることができました。

あらゆる神仏をまつる台北市内のパワースポット龍山寺では、台湾のお参りの仕方や占いの方法など、日本と異なる面、台湾で独自に作り上げられた文化を実際に見て体験することができて、とても良い経験になりました。

コミュニケーション

観光、異文化を体験

—— 国際文化学科 3年 高木 瞳

8月12日から約3週間、台湾の銘伝大学が行う短期留学研修に同じ学科の2人と共に参加してきました。

銘伝大学は語学研修と文化体験を行うことができ、授業は中国語と英語から選べます。私は3週間の英語を選択しましたが、一緒に留学した他の2人は中国語を2週間、英語を1週間と、学びたい言語と学びたい時間を、それぞれ自由に細か

く選択することができました。中国語のクラスは、10人くらいの人数に分かれた授業で、初めて中国語を学ぶ人、受講経験のある人など、能力別に分かれて講義が受けられました。英語のクラスは、少人数の授業で、自分の学びたいことを自由に学ぶことができたので、私はずっと苦手だった発音と会話の練習を重点的に学習し

ニケーションのツールとして当たり前に使用します。

今回、台湾で語学研修をしたおかげで、アジアの国においても英語が商売などの仕事や交友を図る面で大きな力になっていくこと、英語の利便性と重要性を肌で感じるようになりました。

これからも台湾での経験を活かし、話せる英語、使える英語の学習に取り組んでいきたいと思えます。

台湾では幼稚園から英語教育が行われ、世界中の外国人も観光で訪れることから、多くの人から、英語をコミュニケーションのツールとして

「働きやすい職場とは」

〈キャリア育成合宿〉

4大学が合同、6社を見学



平成30年度のキャリア育成合宿が9月5日、6日、新潟国際情報大学、新潟青陵大学、同短期大学部、新潟薬科大学の合同で新潟市西区のメイワサンピアを会場に開かれ、1年生から3年生まで20人が参加しました。

初日は製造業、小売業、サービス業など6社を班別で見学し、それぞれの企業について話し合い、2日目は企業の担当者前で学生がその対策についてアイデアを発表し合いました。

具体的な課題は「付加価値の高い商品を作るために必要なこと」「新潟の名産品のプロモーション施策」「物流センターの有効活用」「働きやすい職場とは」「新時代の結婚式」など。早い時期から企業に関心を持ち、卒業後の進路や将来の仕事について考えることは学生生活の充実にもつながりました。

〈企業見学セミナー〉

初めて1、2年生もメーカー、現場訪問



で3年生が対象でしたが、早い時期から会社・職場を見て雰囲気を知ってもらいたい

企業見学セミナーを8月28日に実施し、新潟市内の印刷会社、農機具メーカー、自動車教習所の3社を訪問見学しました。

この企業見学は昨年度まで

社では自動化ラインでパッケージ印刷を進める様子や、商社の様に輸出部門が拡大する農機具会社など、それぞれ多彩な業務内容と、各社さまざまな仕事の現場を垣間見て、見識を広めることができました。

学生は卒業後に就職して働く意義や会社という組織について考え、自分がやってみたい職種や企業について在学中にイメージすることができました。また大学側にとっても、就活ルールが変わる中、学生の思いや職業観を聞くことができ大きな収穫でした。

経営学科 教授 藤田 晴啓

アジア競技大会が開かれたインドネシアの首都ジャカルタから南に車で約1時間のボゴールにある国立ボゴール農科大学バイオエネ

ルギー研究センターに、昨年8月から客員教授として1年間招かれました。



国際バイオマス会議 (左から3人目が藤田教授)

初めの電子会議システムを2月に導入し、8月に開催

の運営・論文審査を長期間主導しました。2人の学生の卒論副指導教員となり、同会議に論文投稿した学生5人も指導しました。招待講演者のインドネシア、マレーシア、アメリカ、

の運営を進める一方、参加者が300人を超えた「国際バイオマス会議」に投稿された80以上の論文の国際出版準備も続けています。新潟市の朱鷺メッセ新潟国際コンベンションセンター

すなわち論文審査業務が中心となる学術会議経営管理(広報・連絡、参加者・論文登録、支払、査読依頼、論文編集、出版)を教えるカリキュラムは日本の大学にはなく、世界的にもまれ

国際会議運営や論文指導

です。このような業務で学生が起業できるような実践教育を、まずは私塾で始めます。興味のある学生は学部

サウジアラビア、韓国、日本の科学者と共に「国際バイオマス・バイオエネルギー学会」創設を提言する発起人会議を主催して法人登記の手

でも多くの国際会議が開かれ、会場設営や料飲サービスなどコンベンション業務が行われています。しかし、電子会議システムを活用したアカデミック・コンベンション・マネジメント、

育を、まずは私塾で始めます。興味のある学生は学部関係なく話を聞きにきてください。なお、前述「国際バイオマス会議」のウェブサーバー業務はわが研究室の学生が担当しました。

教員海外研修便り

米国ノースカロライナ大学とUCLAで研究

国際文化学科教授 越智 敏夫

昨年夏から年末までノースカロライナ大学チャペルヒル校、年明けから夏まではカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)で研究をする機会を得ました。

ロライナ州内には南軍将兵の銅像がたくさん建てられて

とは有色人種への差別を肯定するという機能を

度肯定するシンボルとなります。この像があり、学生の集会に参加

して歴史遺産として存続すべしというのが学外の保守派の主張です。たまたま自分の研究室の正面にこの像

人種差別か、歴史遺産か

チャペルヒル校に着いたのは、ちょうど学生たちが構内にある南軍兵士像の撤去を求める運動を展開しているときでした。南北戦争時、南軍に属したノースカ

ています。それらは主として南北戦争終結から50年後の第一次世界大戦期に南部諸州の「歴史的回復」として建てられました。つまりこれらの像は南北戦争を正当化するものであり、奴隷制

を果たします。従ってこの像は教育機関としての大学には不適だというのが学生の主張です。彼らは像の台座の周りに座り込み、像の撤去を要求していました。それに対



緑豊かなキャンパス内にある南軍兵士像を張り紙が覆う

するには便利でした。曜日によっては撤去に反対する州内のネオナチも南軍旗を

持って登場し、混乱に備えまたいづれご報告したいと思

て武装警官まで配置されま

思っています。

またいづれご報告したいと思

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

・(2018年8月24日~26日) "Team-teaching around the World: Relationship Issues in Three Key Contexts", Asian EFL Journal (Site Skills Training Campus, Clark, Philippines)

アレクサンドル・プラソル(国際文化学科・教授)

・(2018年8月26日) 「徳川政権と社会安定について」(ロシア・ウラジオストク市 日本センター)

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

・(2018年6月23日~24日) 「日韓国交正常化交渉をめぐる植民地責任論の現況」日本平和学会 2018年度春季研究大会、部会2(開催校企画)「戦争と人間一人の法的責任・権利・地位の地平」(東京大学駒場キャンパス)

・(2018年8月23日~24日) "Japan's Colonial Responsibility and the Records of Japan-ROK Normalization Talks: The Current Situation in Japan, Korea, and the United States", The 11th Kyujanggak International Symposium on Korean Studies, "Conflict, Reconciliation and Records" (大韓民国・ソウル大学校 奎章閣韓国学研究院)

3) 競争的資金獲得研究

内田 亨(経営学科・教授)

・(2018年6月より新規~2019年5月) 一般社団法人 日本医療経営実践協会 2018年度(第1回)研究

助成「看護師等の働き方改革」

4) 委員・社会的活動・記事・その他

石川 洋(情報システム学科・教授)、宇田 隆幸(情報システム学科・教授)

小林 満男(情報システム学科・教授)、河原 和好(情報システム学科・講師)

・(2018年7月7日) JABEE修了生・卒業生交流会(関東地区)(中央大学駿河台記念館)

藤田 美幸(経営学科・准教授)

・(2018年7月1日より新規~) 新潟県農業共済組合連合会 コンプライアンス委員会 委員
・(2018年8月1日より新規~) 公益財団法人 全日本スキー連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター委託事業「女性アスリートの強化支援」(女性アスリートの競技大会等プログラム) 外部評価者

山田 裕史(国際文化学科・講師)

・(2018年8月1日~16日) ①『日本経済新聞』(8月1日付・電子版)、②『NIKKEI ASIAN REVIEW』(8月1日付)、③『NNA ASIA アジア経済ニュース』(8月2日付)、④『西日本新聞』(8月16日付)に、2018年カンボジア総選挙に関するコメント掲載

・(2018年8月25日) 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018「松之山オープンキャンパス」における「松之山・国際理解タイム」の企画・運営(本学の国際交流ファシリテーターおよび同推進員とともに担当)(十日町市三省ハウス)

定」を結んで

者、先生ら19人を本学に

モニター画面上でプロ

講師 河原和好

弥彦村の小学生

プログラミング体験 ゲーム感覚で楽しく



パソコン画面のキャラクターを動かしてプログラミング体験

招いて、8月7日に小学生のためのプログラミング体験講座を開催しました。2020年度に実施される新指導要領では小学校のプログラミング教育が必修となり関心が高まるなか、体験講座は経営情報学部・情報システム学科の河原研究室が担当しました。

講座の終了後は、学生のキャンパスプレゼンターが小学生を案内して大学構内の見学も行いました。



野崎学長「学びを忘れないで」

野崎学長は式辞で「おめでとうございます。新しい社会生活の始まりです。今まで支えて下さったご家族、周囲の人たちの気持ちを考え、これからはお二人が周りを支える時期です。学びを忘

ることに長く、長い人生を多くの人も、のにしてください」と、はなむけの言葉を贈りました。

卒業式には、星野理事長、森副理事長をはじめ、佐々木国際学部長、小林経営情報学部長、澤口情報センター長ら教授、准教授陣、教職員が列席し、若い2人の社会への門出をあたためたい拍手で祝福しました。卒業生はそれぞれ将来の夢を胸に抱き、あらためて気持ちを引き締めていました。

9月卒業式

夢と希望を胸に 巣立ち

多くの人も、のにしてください」と、はなむけの言葉を贈りました。

平成31年度 高校長推薦・帰国生・外国人留学生・社会人入学試験日程

インターネット登録を利用した出願です

入試区分	インターネット出願登録期間	出願書類提出期間	試験日	試験実施教科・科目
推薦入学試験 高校長推薦	指定校制※1			
	公募制 教科成績重視型※2 資格・検定重視型※2	平成30年 11月1日(木)	平成30年 11月1日(木)	面接・小論文
	公募制 スポーツ推薦	12日(月) 15:00まで	13日(火) 【郵送必着】	面接・小論文 競技実績
帰国生入学試験 外国人留学生入学試験 社会人入学試験			平成30年 11月18日(日)	面接・小論文

国際学部 国際文化学科
経営情報学部 経営学科
経営情報学部 情報システム学科

入学時の奨学金
高校長推薦(指定・公募)入学試験合格者
合格後、希望者に対し2月24日(日)に「奨学金試験」を実施。
成績上位者に半期授業料の半額を給付します。

◎入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。

TEL 025-264-3777 FAX 025-264-3780

E-mail nyushiweb@nuis.ac.jp

※1 本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います。※2 併願可・過年度可。 ◎詳細は本学入学試験要項でご確認ください。

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

越智 敏夫(国際文化学科・教授)
・(2018年7月)『政治にとって文化とは何か——国家・民族・市民』ミネルヴァ書房 (272頁)
熊谷 卓(国際文化学科・准教授)
・(2018年8月)「第16章 国際社会と法」『法学／人の一生と法律とのかわり』八千代出版 (227頁)

白井 健二(経営学科・教授)
・(2018年8月) "Parameter setting of a dynamic equation for a production proces with phase transition", International Journal of Innovative Computing, Information and Control 14(4), 1495-1510

藤田 美幸(経営学科・准教授)
・(2018年8月)「ゲームフィクションを活用したモバイル・ヘルスケアサービス：ドコモ・ヘルスケア『歩いておトク』の事例」『日本情報経営学会誌』Vol.38 No.3 (74～82頁)
・(2018年8月)「ゲームフィクションにおけるユーザの動機づけとエンゲージメントの関連」『日本情報経営学会誌』Vol.38 No.3 (83～92頁)

アレクサンドル・ブラーソル(国際文化学科・教授)
・(2018年7月)「Shoguny Tokugawa. Dinastiya v Litsakh (徳川15代将軍暦伝)」Vostochnaya

Kniga (東洋出版), Moscow (445頁)

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)
・(2018年8月)「朝鮮半島における平和体制構築と日本—植民地支配、分断、そして朝鮮戦争」『いがたの教育情報』Vol.127 (71～80頁)

2) 学会・研究会・講演等

神長 英輔(国際文化学科・准教授)
・(2018年7月6日) "To the North of the Northern Sea (Hokuyo): Japanese Fishery in the Bering Sea in the First Half of the 20th century", Slavic-Eurasian Research Center 2018 Summer International Symposium: On Land, Water and Ice: Indigenous Societies and the Changing Arctic (北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター)

土屋 翔(経営学科・講師)
・(2018年7月14日)「経営学の承襲について」Global Sustainability Institute of Japan (嘉悦大学)
・(2018年8月19日)「経営学という学問の一考察—“科学”という視点から—」国際総合研究学会 (兵庫県立大学)

藤瀬 武彦(経営学科・教授)
・(2018年8月24日)「ウェイトトレーニングの三大基本種目の1RMと疾走能力との関係について—一般学生及び陸上短距離部員を対象として—」日本体育学会第69回大会 (徳島大学)

大型クルーズ船が新潟来港

通訳ボランティアで活躍

韓国語、英語で案内

大型クルーズ船が新潟市の東港に7月17日と8月28

日、寄港することを知り、学んでいる韓国語、英語を



スタッフとして通訳ガイドをする遠藤真里奈さん

実際に活用するよい機会だと思つて、外国人観光客に対応する新潟市の通訳ボランティアに参加しました。7月17日はイタリア・コスタクルーズ社の「コスタ・ネオロマンチカ」(5

6・769人)が約700人の乗客を乗せて金沢経由で寄港。新潟市内をはじめ近郊観光を楽しみ、函館へ向けて出港しました。また、8月28日は、同じ船が今度は韓国の釜山経由で入港し、函館へ向けて出港しました。私は事前の研修として、国際外語・観光・エアライオン専門学校で一日研修を受けてから通訳ボランティアに参加し、韓国人には韓国語で、英語を話す外国人には英語で対応しました。新潟市の主な名所・旧跡や観光スポットの見どころを事前に調べて臨みましたが、東港がある聖籠町の温泉施設「ざぶーん」や、新潟市古町通りの私も知らない

のカフェスポットなどもたずねられて驚きました。新潟を楽しんで欲しいという思いで精一杯取り組みまし

た。

(国際文化学科

3年 遠藤真里奈)



県立加茂農林高校で、2年生に世界の不平等について説明

・中・高校生に国際理解教育を行うファシリテーターとして大学生を養成してきました。ファシリテーターとして必要な知識やスキルを学内の講義で身につけ、認められた学生が県内の小・中・高等学校に派遣されます。本年度は、紛争をテーマにした「世界の現実」チーム、チョコレートをした「世界の不平等」チーム、「異文化理解」チームは食文化と民族をテーマにした2チームがあり、全4チームで活動しています。前期は、新潟市立亀田西小学校、県立加茂農林高等学校、北越高等学校などでワークショップを行ってきました。

日本インカレ100m 健闘の走り

陸上競技部・斎藤大介さん

本学陸上競技部の斎藤大介さん(情報システム学科3年)が日本インカレ「天皇賜盃第87回日本学生陸上競技対校選手権大会」(9月6日～9日、

神奈川県川崎市)の等々力陸上競技場で開催)の男子100mに出場して健闘しました。

斎藤さんは、今年5月の北信越学生陸上競技対校選手権大会の男子100mで2位に入賞(記録10秒52)

し、この大会の出場資格を得ました。男子100m予選は、時折風速7m/sを越す強い向かい風の中で行われ(同じ組

予選敗退となり、全体では27位でした。藤瀬武彦陸上競技部長は「スタートと前半の加速は大変よ

隣5レーンは昨年のロンドン世界陸上400mリレー1銅メダルの多田修平選手)、10秒76の記録で4着、

く実力を出せたと思っています。今後の練習で向かい風に強くなり、来年は準決勝、



第1組6レーン(斎藤大介選手は、走者左から3番目)

決勝を目指してほしい」と話しています。

国際交流ファシリテーター

世界の不平等 異文化を考える

本学の国際交流ファシリテーター事業は2005年に始まり、今年で13年目になりました。この事業では、県内の小

国際理解ワークショップに参加した大学生は、児童や生徒と変化の著しい世界の現状に対する認識と理解を共に深めて、互いに学び合いながら、これからも地域の国際化に貢献してまいります。(国際交流ファシリテーター 推進員 中原 滯佳)

今年のテーマ

「彩」

紅翔祭

10/13(土)・14(日)



紅翔祭に向けて

紅翔祭実行委員長
国際文化学科2年
小池 尊

猛暑から秋風の季節に移り、本校の一大イベントの一つである紅翔祭が開催されます。今年は、本校のサークル、団体による模擬店、そして外部からの出店も増え、メインステージではさまざまな出し物も企画しています。大学全体で今年の大学祭をさらに盛り上げていきたいと思っています。10月13日(土)、14日(日)はぜひ、新潟国際情報大学・紅翔祭にお越しください。

13日(土)

ゲストイベント 入場無料

〈場所〉前庭・メインステージ

14:00~15:00

男性アイドルユニット

WAVE

13:30~14:00

日光猿軍団

その他イベント有り

13日(土)

14日(日)

進学相談会

模擬店スペースの一角において、「個別進学相談会」を開催します。学生生活や入試など、どんなことでも気軽にご相談ください!

来場者には素敵なプレゼントを差し上げます

主なイベント&模擬店

13日(土)のみ

- 石川研究室 (Pierre Fluss Laboratory)
- 三人抜きで賞品ゲット (NUISゲームサークル)
- K・A・T・A・N・U・K・I (Strcat)
- 紅翔祭公演(演劇部)
- Get hyphy(ダンス部)
- 平成最後のアカペラライブ (アカペラサークルjoin')
- ECO'S Kitchen (環境研究部NUISEco)
- 手作り雑貨販売 (福祉支援施設LAGOON)

14日(日)のみ

- 裏千家茶道部
- 看護&東洋医療に触れてみよう! (新潟看護医療専門学校)

13日(土)

14日(日)

両日開催

- ECOPIYOのアトリエ (環境研究部NUISEco)
- ふりーまーけっと (国際学部4年女子)
- JABEE説明ブース (情報システム学科JABEE委員会)
- 射的(総合芸術同好会)
- 河原研究室展示
- 近藤研究室
- MMCの名刺屋さん
- 写真展示(写真部)
- ROCK IN NUIS vol.7 (軽音楽部)
- 紅翔祭茶会(表千家茶道部)
- 玉こんにやく(軽音楽部)
- Mr.クリスパン (男女硬式テニス部)
- PACTION(ACTION)
- POCTION(ACTION)
- ゲームセンターMMC
- からあげ屋さん(ソフトテニス部)
- タビプロ(災害ボランティア団体 nuis_project)
- 軍隊カレー(US組)
- Photoチュロ(写真部)
- フェアトレードのコーヒー屋さん (フェアトレード団体NUIS FT)
- もちロングポテト(安藤ゼミ)
- パニガーレ(ツーリング同好会)
- 珍珠奶茶(中国文化サークル)
- 紅翔祭茶会(表千家茶道部)
- ハンドトリートメント体験 (株式会社ノエビア)
- 輝く、ワタシ、消防女子。(新潟県の消防団)
- みずき野西区自治会 秋の文化祭
- 自動車展示会 (モーターニイガタ株式会社)

文化講演会

演題 「富士山から日本を変える」

講師 登山家のくち けん
野口 健氏

開催日 10月14日(日)
13:00~14:30
(開場:12:30)

会場 新潟国際情報大学
本校 140教室

定員 先着400人(無料)

申込方法 「野口健氏講演会聴講申込」
●郵便番号 ●住所 ●氏名 ●電話番号 ●年齢
●聴講人数(上限5人) をご記入のうえ、
ハガキまたはEメールにてお申込みください。

宛先 ハガキ 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
新潟国際情報大学 文化講演会 係
Eメール koenkai@nuis.ac.jp



野口 健氏 プロフィール

1973年8月21日、アメリカ・ボストンで生まれる。高校は英国立数学院に入学。しかし勉学に熱中できず、荒んだ日々を過ごし、自他共に認める「落ちこぼれ」であった。そんな時、偶然に書店で手にした植村直己氏の著書『青春を山に賭けて』に感銘を受け、登山を始める。ヨーロッパ大陸最高峰モンブラン、アフリカ大陸最高峰キリマンジャロなどの登頂を果たし、登山に自己表現の価値を見だし、世界7大陸最高峰登頂という目標を自らに課す。この時野口は16歳であった。登山に必要な資金集めなど自らでこなし、1999年3度目の挑戦でエベレストの登頂に成功し、10年の歳月をかけて7大陸最高峰世界最年少記録を25歳で樹立する。2006年からは、富士山・エベレスト同時清掃活動を実施。さらに、環境教育の必要性が訴えられている中で、次世代の環境問題を担っていく人材育成の必要性を痛感して、小・中・高・大学生を対象とした「野口健環境学校」を開校。環境の大切さを訴え、実践していくメッセンジャーを日本全国に育てている。

★この講演会は、父母会、みずき会(同窓会)の共催事業です。
★個人情報については、入場整理券郵送の目的以外に利用いたしません。

小学生ら150人ワクワク!

46億年の地球、プログラミング、誕生学、国際理解：14講座

夏休み中、好奇心を刺激

22日と9月15日、本学と新潟青陵大



本学の新潟中央キャンパスで8月22日と9月15日、本学と新潟青陵大

学、新潟薬科大学、新潟青陵大学短期大学部、新潟工業短期大学が連携して小学生を主な対象に「5大学連携ニイガタSKYスクール」を開催しました。

SKYスクールは、青陵S、国際情報K、薬科Yの、専門ジャンルが異なる3大学と2短期大学が協力して、参加する小学生たちの関心と興味、知識を高めようと昨年の夏休み中に続いて2回目の開催でした。8月は、5大学合わせ各分野14ある受講無料の講座に120人の小学生と親ら150人が参加しました。

本学は「迷路を脱出するプログラム」「iPadプログラミング教室」「国際理解ワークショップ」想像を超えた世界へ民族の魅力を探ろう」など6講座を開設。低学年向けの「iPadプログラミング教室」はiPadに指タッチで好きな絵を描き、スクリーンに映して水槽の魚やクラゲのように動かして楽しませました。

新潟青陵大と新潟薬科大、新潟青陵大学短期大、新潟工業短期大は「誕生学」のちの力ってすごいよ!」「46億年の地球にふれる・化石レプリカづくり」「つくって遊ぼう!モックカー・レース」などの講座を開きました。

(新潟中央キャンパス 片桐 徹)

本学と北越高等学校が連携して10月21日と11月11日、新潟市の沼垂地区で地域を学ぶ街歩き「にいがたクエスト」を開催します。参加希望者は当日の午前10時30分、ほんぽーと・新潟市中央図書館にお集まりください。

指す「ハイブリッドまちあるき」です。高校・大学生がお互いに創意工夫をこらし、IT企業や地域の自治会、商

が企画した「ふるまちクエスト」に北越高等学校の生徒が参加し、地域学を学ぶ一環で課外活動「にいがたクエ

がら、地域を元気にする活動に継続的に取り組んで参ります。

北越高校と連携「にいがたクエスト」

沼垂(新潟市)で10月、11月街歩き

この活動は、I

CT(情報通信技術)を活用し、街の歴史・伝統など地域資源を歩いて探訪、理解しながら、結果的に地域活性を目

店街と協力体制を築いて、知識やコミュニケーション、現場で学ぶ力を高めます。昨年12月、藤田美幸研究室

スト研究会」が同校に誕生、今年6月から藤田研究室と合同活動が始まりました。今後とも協働しな



どんな名所、史跡があるか調べる高校生と大学生(本学・新潟中央キャンパス)

湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員長 西山 茂

私は気持ちの柔軟性はそこそこある。しかし、今の(若者とはいわないが)比較的古い世代の言葉遣いには、時々辟易させられることがある。いわゆる「先日〇〇に行かせていただきました」。誰かに費用を持ってもらったのであれば「先日〇〇に行きました」でいいだろう! コンビニで「1,000円の方、お預かりします」。そんな方角ないだろう。「1,000円をお預かりしました」でいいだろう! レストランで「こちらが梨のコンポートになります」。もうでき上がっている(成っている)のだから「こちらが(ご注文の)梨のコンポートです」でいいだろう(イライラ)。何かのチェックを依頼するときに「〇〇です。確認願います」。人に頼むのだから、「〇〇です。ご意見をいただきたいと思ひます」だろう。

「方」、「させる」、「なる」を使うのは、余分な言葉を挟むことによって、相手との距離を作り、丁寧さを増す(言葉にはそういう性質があるらしい)、あるいは、関わりを減らすという気持ちの表れではないかと思っている。「確認」は、アルバイト先で店長などに仕事の結果を「確認」してもらおうという使い方が普遍化(?)したのではないかと思う。

言葉はコミュニケーションの道具であり、時間とともに変化する。私も「全然いい」を使い、若い時に年長の方をイライラさせたのではないかとも思う。だから、自戒を込めて、良いコミュニケーションのために、時々、周りの人に自分の言葉のチェックをしてもらうことは重要ではないかと思う。